

2025年12月8日
SCSK株式会社

「勘定奉行クラウド」と「CO×CO カルテ」が API 連携 ～会計データだけで CO₂排出量を自動算定、取引先への提出要請に“即応”～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)が提供する CO₂排出量算定サービス「CO×CO カルテ(ココカルテ)」は、基幹業務システムを開発・販売する株式会社オービックビジネスコンサルタント(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:和田 成史、以下 OBC)が提供するクラウド財務会計システム「勘定奉行クラウド」との API 連携を開始しました。

この連携により、「勘定奉行クラウド」をご利用中の企業は、日々の会計業務で蓄積された仕訳・勘定科目のデータを、そのまま排出量算定に活用できるようになります。専門的な設定や追加作業は不要で、会計データだけで CO₂排出量を自動算定・可視化できます。



1. 背景・目的：サプライチェーン全体の脱炭素化により、取引先からの排出量提出要請が今後急増

2024年以降、企業の気候関連情報開示は国内外で急速に強化され、欧州 CSRD や ISSB^{※1}の導入により、サプライチェーン全体の排出量の開示は“事実上必須”となりつつあります。日本でも GX-ETS^{※2}の本格開始が予定され、大企業には排出量の正確な把握とサプライチェーン管理が求められ、サプライヤーへの排出量データ提出要請の急増が見込まれます。

一方、中堅・中小企業では算定体制が整っていない場合が多く、取引先の要請に応えられない状況も生じています。こうした課題を解決するために、SCSKは会計データのみでCO₂排出量を自動算定できる「CO×COカルテ」を提供しています。

さらに、このたび「勘定奉行クラウド」との API 連携により、「財務会計システムから排出量を自動算定できる」仕組みを実現し、勘定奉行クラウドユーザーが取引先からの要請に迅速かつ正確に対応できる環境を実現しました。

※1 CSRD(Corporate Sustainability Reporting Directive):欧州連合(EU)が定めた企業のサステナビリティ情報開示に関する新制度。ISSB(International Sustainability Standards Board):国際会計基準財団(IFRS)が策定したサステナビリティ情報開示の国際基準。

※2 GX-ETS(Green Transformation Emissions Trading Scheme):日本政府が導入を進めている排出量取引制度。

2.「CO×CO カルテ」と「勘定奉行クラウド」の連携により実現する主な価値

「CO×CO カルテ」は、企業が保有する会計データをもとに CO₂排出量を算定できるサービスです。今回の API 連携により、「勘定奉行クラウド」との連携が自動化され、より負担の少ない算定環境を提供します。

(1) 会計データの“取り込みすら不要”で、算定作業がゼロに

「勘定奉行クラウド」の仕訳・勘定科目データが自動で「CO×CO カルテ」に連携され、CSV の書き出しやアップロードなどの前処理が不要になります。日々の会計業務の延長で排出量算定まで完了でき、中堅・中小企業でも無理なく導入できます。

(2) 取引先からの排出量提出要請に“即応”できる体制を構築

サプライヤーへの排出量提出要請にも、追加投資や専門知識なしで対応できます。提出に必要なデータが常に最新化されるため、急な依頼にも遅延なく応じられます。

(3) 排出量とコストを同時に可視化し、経営判断を支援

排出量と関連経費を一元的に可視化することで、脱炭素とコスト管理を両立した意思決定が可能になります。算定結果を経営改善につなげる実用的な活用が期待できます。

「CO×CO カルテ」について

CO×CO カルテは、企業が保有する会計データをクラウドサービスへアップロードするだけで、独自開発したアルゴリズムが CO₂排出量を算定するサービスです。専門知識やツール操作が不要なため、属人化を防ぎ、算定にかかる業務負担を軽減します。排出量と連動する経費を可視化することで意思決定を支援し、中堅・中小企業の脱炭素対応を“負担”から“成長機会”へと転換することを目指しています。

<https://www.scsk.jp/sp/cocokarte>

【特徴】

- (1)算定対象範囲:Scope1、Scope2、Scope3(カテゴリ 1~8。サプライチェーン排出量上流も把握可能)
- (2)金額ベースの算定だけでなく、物量ベース(実エネルギー使用量等)の入力機能あり。
- (3)排出原単位や算定方法は環境省ガイドライン^{※3}に準拠。
- (4)CO₂排出量およびこれに連動する経費も可視化。(脱炭素化とコスト削減の両立も支援)

※3 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン

「勘定奉行クラウド」について

「勘定奉行クラウド」は、仕訳入力から月次・決算、申告業務までの一連の会計処理を一元管理できるクラウド型財務会計システムです。中堅・中小企業を中心に幅広く利用されており、日々の会計業務の効率化や内部統制の強化、部門間でのデータ共有を支援します。また、クラウド基盤により、最新データをもとにした迅速な意思決定や業務標準化の推進に寄与します。

<https://www.abc.co.jp/bugyo-cloud/kanjo>

株式会社オービックビジネスコンサルタント(OBC) 会社概要

会社名:株式会社オービックビジネスコンサルタント

代表者:代表取締役社長 和田成史

設立:1980年12月

本社:東京都新宿区西新宿六丁目8番1号住友不動産新宿オーフタワー

HP:<https://www.abc.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ビジネスデザイングループ

GXセンター CN 事業推進部 小竹・功刀・斎藤

E-mail:env-support@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。